

双方向のコミュニケーションで更なる企業価値の向上へ

シスメックス株式会社 代表取締役会長兼社長 家次 恒

このたびは、医療品部門ならびに個人投資家向け情報提供においてディスクロージャー優良企業に選定いただき、誠にありがとうございます。2015年、弊社が上場20周年を迎える年に、2部門で賞をいただけたことは大変光栄です。

弊社は、健康診断や病気の治療、経過観察に不可欠な「検査」のための機器・試薬・サービス&サポートを提供するメーカーです。1968年に神戸で創業し、グローバルに研究開発から生産・販売・サービスを行っており、血球計数検査・尿検査・血液凝固検査において、グローバルNo.1のシェアを有しています。

IR活動においては、株主・投資家の皆さまへの説明責任を果たし、弊社経営、事業活動への正しい理解と信用を得るため、業績、財務内容、将来ビジョンや経営戦略を公平、迅速、正確に、そして分かりやすく開示することを基本姿勢としています。特に弊社はB to B企業であり、医療関連の専門用語が多く、初めてお会いする方には理解が難しい側面があります。そのため、ヘルスケア市場が成長分野であること、弊社のビジネスモデルは主に消耗品で収益を上げるストックビジネスであり景気減速の影響を受けにくいこと、また、競合に対する強み等を、中長期的な戦略と合わせて説明することを心がけています。

経営において情報をオープンにするのは特に大切なことです。株主・投資家の皆さまに弊社の理解を深めていただくため、情報開示は積極的に行っています。具体的には、アナリスト・機関投資家に対して、四半期決算説明会の他、決算補足資料として詳細なセグメント情報を公開していま

す。また、決算情報以外にも毎年、技術説明会を開催し、弊社の研究開発の進捗をご説明しています。更に2年に1回は海外施設見学会を企画し、弊社の製品を利用いただいている病院を直接ご見学いただく等、その地域の医療事情や弊社の優位性・今後の成長性についてご理解いただく機会を設けています。一方、個人投資家の皆さまにはフェアディスクロージャーを心がけ、会社説明会の開催や、ホームページのコンテンツの充実など分かりやすい事業内容の紹介に努めています。弊社個人株主の皆さまに対しては事業報告書の四半期ごとの発行や、工場などの見学会を開催し、弊社のファンになっていただく工夫も行っています。

また、IR活動は経営トップの重要な役割であると考えています。弊社は国内だけでなく、2000年代から海外IRを実施し、毎年欧州・米州・アジアの投資家とも積極的に対話しています。私自身、海外に出掛けると厳しい質問を受ける場面もありますが、逆に投資家やアナリストの皆さまから有益な情報やアドバイスもいただきます。そこで得られた資本市場からの評価・要望は、経営に生かすと共に、四半期に一度マネジメント層対象の会議で私が自らの言葉で社内フィードバックしています。IR部門のレポートも全社で共有することで、IR活動を経営革新のツールとしています。

今後も株主・投資家の皆さまとの双方向コミュニケーションを通じたIR活動により、更なる企業価値の向上に努めてまいります。アナリスト・投資家の皆さまにおかれましては、今後ご指導ご支援を賜りたく、よろしく願い申し上げます。